

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版現代文B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版現代文B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	<p>1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。</p>
学習の方法	<p>・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。</p> <p>・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 「自明性の罣」からの解放	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・現代社会の自明性についての文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	評論1 自他の「間あい」	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の関係性について考え、人間関係について話し合います。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	—	—	B
1 学期 末	小説1 山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性をとおして、人間とは何かについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	評論2 「私」中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・言語と自我の構造の関係、事実とその解釈の問題について、考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	A	—	B
2 学期 中間	評論3 存在としての建築	<ul style="list-style-type: none"> ・木造とコンクリートという素材の相違点についての的確に把握します。 ・建築を通して、表象と存在について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	小説2 こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わいます。 ・人生への関心を深め、自己の形成に資するようにします。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
2 学期 末	評論4 働かないアリに意義がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ムシ社会とヒト社会の比較を通して、組織について考えをまとめます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	A	—	B
	評論5 動的平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・生命観の移り変わりを読み取り、動的平衡論について話し合います。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	—	—	B
学 年 末	詩 永訣の朝他	<ul style="list-style-type: none"> ・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解し、自分の表現に役立てます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	—	—	B
	評論6 「グローバル化」の中の異文化理解	<ul style="list-style-type: none"> ・近代化とグローバル化が進む世界における自文化と異文化理解について考えを深める。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B
	小説3 葉桜と魔笛	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた人間・時代について、表現に即して理解します。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	—	—	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校改訂版古典B 古文編 高等学校改訂版古典B 漢文編 (第一学習社)		
副教材等	高等学校改訂版古典B 学習課題集古文編 (第一学習社)、高等学校改訂版古典B 学習課題集漢文編 (第一学習社)				

学習の目標	<p>1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。</p> <p>2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。 ・授業中は、口語訳や文法の確認を中心に行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。 ・復習では、学習課題ノートを解いて、学習した内容を定着させましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文 (説話)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が主張している内容について整理します。 ・登場人物の心情や人物像を、表現に即して考えます。 ・庶民性や平俗性といった特色を理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文 (故事・寓話)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情を理解します。 ・漢文に類出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
1 学期 末	古文 (随筆 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の無常観を理解し、その背景を考えます。 ・文中の助動詞の意味・用法について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文 (古代の史話)	<ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の人々の考え方や生き方を読み味わい、自らの考え方をまとめる。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2 学期 中間	古文 (物語 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 ・文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 ・物語の特徴を比較し、文学世界を味わう。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文 (名家の文章)	<ul style="list-style-type: none"> ・句法や類出の語彙に注意しながら現代語訳します。 ・登場人物の人柄について考察します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2 学期 末	古文 (随筆 2・物語 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆から筆者の観察眼と美的感覚を理解します。 ・物語の内容を理解し、古典の世界を理解を深めます。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文 (項羽と劉邦)	<ul style="list-style-type: none"> ・句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 ・人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
学 年 末	古文 (日記・物語 3)	<ul style="list-style-type: none"> ・本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 ・本文中の敬語について理解します。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文 (漢詩の鑑賞・思想)	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の情景や心情を読み味わいます。 ・各詩の詩型及び押韻を確認します。 ・孔子・孟子・老子が導く「人間像」を考察します。 ・孔子の理想する政治論について理解する。 ・行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文 (和歌・俳諧)	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景や文化を踏まえて、和歌を詠み味わいます。 ・中国の文化との比較を通して理解を深める。 ・行動の観察、ノート、小テスト 	B	—	—	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	現代社会	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)		
副教材等	最新現代社会資料集 2018 (第一学習社)				

学習の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間について理解し、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ワークブックを活用し、学習内容の定着を図ります。 意欲・関心を持って取り組み、復習を怠らず実行しましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1学期 中間	私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における諸課題を通して、幸福、正義、公正などについて理解するとともに、現代社会について関心を高めます。 ノート整理、レポート、定期考査 	A	B	B	B
	第1章 現代に生きる青年	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義を理解し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら、自己形成の課題について考えます。 ノート整理、定期考査、定期考査 	B	B	—	A
1学期 末	第2章 個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と関連しながら、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等について考えます。 ノート整理、定期考査 	B	B	B	A
	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ノート整理、レポート、定期考査 	B	A	B	B
2学期 中間	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深め、政治参加の重要性について考えます。 ノート整理、レポート、定期考査 	B	A	B	B
	第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解します。 ノート整理、定期考査 	B	B	B	A
2学期 末	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会の変容に触れながら、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考えます。 ノート整理、定期考査 	B	B	B	A
	第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ノート整理、定期考査 	B	A	B	B
3学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化が進展する国際社会における国際経済の動向について理解します。 ノート整理、定期考査 	B	A	B	B
	第7章 現代に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> 個人と社会の関係に着目し、社会を構成する個人の生き方の選択が社会全体の課題にどのように関連しているか考えます。 ノート整理、定期考査 	B	A	B	B
	ともに生きる社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の形成に参画するという観点から、課題を探究する活動を通して、人間としての在り方生き方を考えます。 ノート整理、レポート、定期考査 	B	A	B	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学A	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	新編 数学A 改訂版 (啓林館)		
副教材等	基本と演習テーマ数学 I + A (数研出版)				

学習の目標	<p>数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限までに必ず提出して下さい。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ・ある事柄が起こる場合の数を数える方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
	第2節 順列・組合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・順列や組合せの意味について理解し、それらの総数を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
1 学期 末	第3節 確率とその基本性質	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の意味を確認し、事象の確率を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第4節 独立な試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の試行を行ったときの確率を求める方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	—
2 学期 中間	第5節 条件付き確率	<ul style="list-style-type: none"> ・条件付き確率についての理解を深めます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	—
	第2章 整数の性質 第1節 約数と倍数	<ul style="list-style-type: none"> ・公約数、公倍数の求め方や、整数の性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 末	第2節 ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを活用する方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	第3節 整数の性質の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の性質を事象の考察に活用する方法を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第3章 図形の性質 第1節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形、四角形に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
3 学期	第2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・円に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第3節 作図	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形や円の性質を用いた作図について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	—
	第4節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ・直線や平面の位置関係や、多面体に関する基本的な性質について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	3	教科書	改訂版 生物基礎 (数研出版)		
副教材等	生物基礎実験ノート・問題集2018 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会)				

学習の目標	1 実験や観察を通して、生物におけるさまざまな基本的な生命現象について学びます。 2 実験や観察を通して実験方法や観察方法、考察の方法などの技術を習得し、自らが探究していく能力を高めます。
学習の方法	・教科書や資料等を用いて、「生物」について幅広く学ぶ授業です。 ・「生命とは何か」、「生物の多様性と共通性とは何か」などを、現代の生物学の手法や技術を学びながら理解していきます。具体的には実験・観察のほか、作業学習、探究活動などを行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 生物の特徴	・生物は多様であるが、細胞構造などをもつなど共通性があること、その共通性は共通の起源をもつことに由来することを学習します。 ・顕微鏡の使い方を習得し、細胞などを観察します。また、探究活動とは何かについて理解します。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	—	A	B
		・酵素のはたらき、光合成と呼吸のはたらきを通して、生物がエネルギーを得ていることを学習します。 ・実験ノート、授業ノート、定期考査	B	B	A	B
1 学期 末	第2章 遺伝子とのはたらき	・遺伝子の本体であるDNAについて、構造及び遺伝情報はその塩基配列にあることを理解します。 ・実験ノート、授業ノート、定期考査	B	A	B	B
2 学期 中間	第2章 遺伝子とのはたらき	・転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質合成について学習します。また、遺伝情報の複製についても学びます。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	A	B
		・体内環境がどのようにして一定に保たれるのか、体内でどのような調節が行われるかを学びます。循環系、腎臓と肝臓について学習します。 ・授業ノート、定期考査	B	B	—	A
2 学期 末	第3章 生物の体内環境	・自律神経と内分泌系、免疫について詳しく学習します。免疫では、細菌やウイルスなどの病原体の攻撃を、どのように防御するか学びます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	—	A
		・植生について、その構造や遷移とそのしくみについて学習します。森林・草原・荒原などの植生について理解を深めます。 ・実験プリント、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	B	A
3 学期	第4章 植生の多様性と分布	・地球上にはさまざまなバイオームが見られること、バイオームの分布は、主に気温と降水量によって決まることを例を取り上げ学習します。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	A	—	B
		・生態系のなりたち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習します。 ・実験ノート、授業ノート、課題プリント、定期考査	B	B	B	A
3 学期	第5章 生態系とその保全	・生態系は絶妙なバランスの上に成り立っていること、人類は生態系に影響を与えていることを学習し、自然環境の保全の重要性を学びます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	A	—	B
		・生態系は絶妙なバランスの上に成り立っていること、人類は生態系に影響を与えていることを学習し、自然環境の保全の重要性を学びます。 ・授業ノート、課題プリント、定期考査	B	A	—	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動観察 	A	B	—	B
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察 	A	—	—	B
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト 	B	B	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測 	B	B	A	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・小テスト 	B	B	—	A

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	・現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくない。また、健康の捉え方や健康のために望まれることも変化してきた。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の特徴と体と心の面から学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 				
	2 性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・性意識に関する男女の特徴をふまえて異性を尊重する態度が必要であることを学習します。 	B	-	-	A
	3 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを学習します。 				
	4 妊娠出産と結婚	<ul style="list-style-type: none"> ・受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。 	B	-	-	A
	5 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義や方法について理解し、お互いのコミュニケーションの意義やそれにもとづく妊娠、出産、人工妊娠中絶の意思決定ができるよう学習します。 	B	A	-	B
	6 加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢ともなう心身の変化を形態面と機能面から学習します。 	A	B	-	-
	7 高齢者のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の健康を支援するためにの社会的対策が種々に行われていることを学習します。 	B	-	-	A
	8 保険制度その活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保健制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすかを学習します。 	B	A	-	B
2 学期	9 医療制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な医療機関の活動内容を理解し、その利用にあたり医療費が支払われる仕組みを学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	A	-	B
	10 医薬品と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の正しい使い方を理解し、医薬品の有効性や安全性がどのように認められているかといった、医薬品にかかわる社会的な側面を総合的に知ることができるよう学習します。 	A	B	-	-
	11 さまざまな保健活動と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界においてどのような保健活動や対策がおこなわれているかを学習します。 	B	-	-	A
	III 1 社会生活と健康 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染や汚染源と汚染物質、それによる健康被害について学習します。 	B	-	-	A
	2 水質汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁の実態とその対策及び、こんにちの生活排水による水質汚濁の実態を学習します。 	B	A	-	B
	3 健康被害防止と環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染を防ぐためにさまざまな社会政策や個人でできることを幅広く調べ、総合的な対策を考えようとする態度を身に付けます。 	A	B	-	-
	4 環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みを理解した上でそれらの問題点や対策を学びます。 	A	B	-	-
3 学期	5 食品衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・生産や製造・加工の現場から保存・流通、販売における基準などの遵守、遵守状況における行政の監視を学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	-	-	A
	6 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について学習します。 	B	A	-	B
	7 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあることを学習します。 	A	B	-	-
	8 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害・職業病とは何か、ということについて理解した上で、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について具体的に学びます。 	B	-	-	A
	9 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における健康増進活動として、様々な専門家によって健康づくり支援がおこなわれるようになってきたことを学習します。 	B	A	-	B

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	3	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語(数研出版)、キクタン6000(アルク)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、英語で話し合える理解力と表現力を習得します。 3 1年次に習得した基本的なものより複雑な構文や文法を習得し、語彙を増やします。GTEC450点以上、全商英語検定1級を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、教科書の文章を家で読んでくるのが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力でやる習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 Take a Shot or Not	<ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影と記憶の関係について読み取ります。 ・It is+形容詞+that節、関係代名詞what、現在完了進行形を理解して使えるようにします。 ・自分にとって重要なこととその理由について発表します。 ・発表、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 2 Ethical Fashion	<ul style="list-style-type: none"> ・エシカルファッション製品について読み取ります。 ・助動詞+受け身、強調構文、S+V+O[=疑問詞+to不定詞]を理解して使えるようにします。 ・発表、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 3 Landfill Harmonic	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルオーケストラについて読み取ります。 ・関係副詞where、過去完了形、S+V[=使役動詞]+O+C[=原形不定詞]を理解して使えるようにします。 ・自分の得意なことを具体例と共に、適切な表現を用いて発表します。 ・発表、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	Lesson 4 Icons of Scotland	<ul style="list-style-type: none"> ・スコットランドの歴史と文化について読み取ります。 ・S+V[=知覚動詞]+O+C[=現在分詞]、S+appear+to不定詞を理解して使えるようにします。 ・読んだことの概要や要点を英語でまとめる活動を行います。 ・発表、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	Lesson 5 Japan's Secret Health Food	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について読み取ります。 ・分詞構文(過去分詞)、倍数表現、直前の文の内容を先行詞とするwhich、形式目的語it[=to不定詞]を理解して使えるようにします。 ・宇和島の産物と消費地について調査し、それを英語で発表します。 ・発表、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	Lesson 6 Vegetable Factories	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について読み取ります。 ・進行形の受け身、It appears[seems]+that節、未来完了形、譲歩を表す副詞節を理解し、使えるようにします。 ・野菜工場の利点や欠点について、英語でディスカッションします。 ・発表、小テスト、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現 I	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	DUALSCOPE English Expression I (数研出版)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語 (数研出版)、キクタン6000 (アルク)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC450点以上、全商英語検定1級を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、教科書の練習問題などを家で解答して行くことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるように、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。 ・週3時間で、4月から12月まで学習します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 1 英語の型で表現する Lesson 2 さまざまな「時」を表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・S+V、S+V+C、S+V+O、S+V+O+O、S+V+O+Cを身に付けます。 ・do、will do、am doing、have doneを身に付けます。 ・自己紹介をします。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
	Lesson 3 助動詞を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・can/may/must、should/Will you?/Shall I?、used toを身に付けます。 ・学校生活での、依頼する、勧誘する、許可する、禁止する表現を学びます。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
1 学期 末	Lesson 4 受動態を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・be done、It is said that/He is said to doを身に付けます。 ・感情を表す表現を学びます。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
	Lesson 5 不定詞を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・to do、It is ... For A to do、seem to doを身に付けます。 ・願望・目的の表現を学びます。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
2 学期 中間	Lesson 6 動名詞を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・V+doingとV+to doを身に付けます。 ・感謝する、謝る表現を学びます。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
	Lesson 7 分詞を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・... doing[done]、V+O+doingとV+O+doneを身に付けます。 ・日本文化を説明します。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
2 学期 末	Lesson 8 比較を使って表現する Lesson 9 関係詞を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・as ~ as、more ~ than、the most ~、Nothing is as ~ asなどを身に付けます。 ・比較する表現を学びます。 ・a person who、a thing which、in which、what、a day whenなどを身に付けます。 ・世界遺産について説明します。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
	Lesson 10 仮定法を使って表現する	<ul style="list-style-type: none"> ・If I had ~、I wish I had ~、as if he were、Without ~を身に付けます。 ・環境 仮定や願望の表現を学びます。 ・小テスト、発表、定期考査 	B	A	-	B
3 学期	(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。					

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	1	教科書	DUALSCOPE English Expression II (数研出版)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語 (数研出版)、キクタン6000 (アルク)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC450点以上、全商英語検定1級を目標とします。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、教科書の練習問題などを家で解答してくることが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。 ・週3時間で、1月から3月まで学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期						
2 学期						
3 学期	UNIT 1～3 Deciding the Subjects of Sentences	<ul style="list-style-type: none"> ・主語について学習します。 ・一般の人々/非人称のitなど、句・節/意味上の主語、無生物主語/名詞構文 ・小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 4～7 Using the Correct Forms of Verbs	<ul style="list-style-type: none"> ・述語動詞の形について学習します。 ・現在時制・過去時制/未来を表す表現、進行形/完了形、助動詞/受動態、仮定法 ・小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B

(備考) 1 3学期は、学年末考査のみとする。

平成30年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	平成30年度 家庭科ノート・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的基本的な知識と技術を習得します。 2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	・自分の生活を振り返りながら興味・関心を持って積極的に学習に参加し、実験・実習などに意欲的に取り組み、生きるために必要に知識や技術を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1章 人生をみつめる	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題を取り扱い、その中でアイデンティティを確立することの重要性を学習します。 ・ノート、定期考査 	B	A	—	B
1 学期 末	6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を送るうえで、必要な栄養素とそのおもな働きについて調理 実習・実験など科学的な視点から学習します。 ・ノート、定期考査、調理実習 	B	B	B	A
	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭生活上の課題を見つけ、解決のための方法を考え、計画を立てて実行し解決できるよう学習します。 ・ホームプロジェクト、発表 	B	B	A	B
2 学期 中間	2章 子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期は人間形成の基礎づくりの時期であることを学び、親の働きかけの重要性について学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント 	B	B	B	A
2 学期 末	6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の役割を認識し、自分や家族の食生活に関心を持ち、調理実習・実験などに科学的な視点から学習します・食品の安全や、食品表示について学習し、購入に際しての選択法を身に付けます。 ・ノート、定期考査、調理実習 	B	B	B	A
3 学期	5章 経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について取り扱い、自ら考え行動し、経済の管理や計画について学習します。 ・ノート、定期考査 	B	B	B	A
	10章 生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観に沿って、自分らしいライフスタイルを描きながら人生の時間軸にそって生活設計を立てます。 ・ノート 	B	A	B	B

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	2年 商業科 II型	
単位数	2	教科書				
副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(実教出版)					

学習の目標	<p>1 マルチメディアを利用して、表計算ソフト、文書作成ソフトを使った実習を行います。</p> <p>2 課題研究を継続して学習することにより、忍耐強く物事に取り組む姿勢を身に付け、問題を解決しようとする意欲を高め、自信を持って社会生活を営めるように「生きる力」を養います。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・商業文書に関する基礎的な知識と技実や文書処理能力を表計算ソフトや文書作成ソフトを通して習得します。 ・大学受験を見据え、小論文に必要な情報収集を行い、小論文の作成技術の基礎を学びます。 ・入試簿記の過去問に挑戦し、理解を深めていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 ワードソフトを利用した文書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・文書処理ソフトの基本的な操作方法から、図表やグラフの挿入やレイアウト編集の手法まで実習を通して習得します。さらにビジネスで活用する様々な文書の書式や役割を学びます。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、ワークブック 	B	B	A	B
1 学期 末	2 表計算ソフトの活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用した情報の整列・検索・抽出の技法を学び、実用的な操作ができるようになります。さらに目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの手法を習得していきます。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、ワークブック 	B	B	B	A
2 学期 中間	2 表計算ソフトの活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用した情報の整列・検索・抽出の技法を学び、実用的な操作ができるようになります。さらに目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの手法を習得していきます。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、ワークブック 	B	B	B	A
2 学期 末	3 日本商工会議所簿記検定2級対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題の設定、学習計画の立案・研究をすることにより、計画力、実践力、問題解決能力を身に付けます。また、日商簿記検定2級にチャレンジします。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、ワークブック 	B	—	—	A
3 学期	4 大学受験における小論文対策	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試を受験することが多い商業科の生徒にとって、小論文試験対策をすることは非常に重要なことです。この講座では小論文などの入試に必要なことを学ぶことで問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。また、経済に関する書籍や用語辞典等で情報収集を行います。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント 	B	A	—	—
	5 入試簿記対策	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問に挑戦し、入試簿記に対応できる力の育成をします。進路実現に向けて意欲的に取り組みましょう。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント 	B	B	—	A

(備考) 1 定期考査は実施しないが、単元ごとに確認テストを実施する。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	最新プログラミング (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定 模擬試験問題集プログラミング 1級 (実教出版)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータを使ったデータ処理のしくみについて理解します。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得します。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を養います。 4 社会の様々な活動で情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングの実習を通じて、コンピュータのしくみやセキュリティの要点などの基本的な知識を学びながら、プログラムを開発して大量のデータを処理する技能を養成します。 ・デバッグ活動を通じて、根気強さや注意深さを促し、ビジネスにおいて必要な論理的な思考法を養成します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会の情報処理について学びながら、プログラミングの可能性を考えます。さらにJava言語の特徴を理解するとともに、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を把握します。 ・実習作品、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
1 学期 末	2 プログラミングの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングの開発手法を身に付け、各種ファイルの役割を理解します。さらにJavaプログラムの基礎的・基本的な技法を身に付けるとともに、デバッグのこつやエラーを起こしにくい開発習慣を身に付けます。 ・実習効率、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	3 プログラミング応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングにおけるオブジェクト指向、メソッドの構成、配列処理、例外処理、ファイル操作などの概念とコーディングを学び、実用的なプログラムを開発できる能力を養成します。 ・実習態度、デバッグ効率、検定対策テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 末	4 Javaの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・より応用的なJavaの機能ライブラリーを取り込むことにより、ウインドウ操作、文字列加工、画像操作、動画などのマルチメディア操作を実習し、Javaプロや音声プログラミングのさらなる可能性を考えます。 ・実習作品、開発効率、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	5 ハードウェア・ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの利用にあたって必要な、ハードウェアとソフトウェアに関する知識を身に付けます。さらに情報社会に参画する上での望ましい態度について考察を深めます。 ・検定対策テスト、定期考査、実習作品、ノート 	B	B	B	A

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	マーケティング	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	マーケティング 新訂版 (実教出版)		
副教材等	マーケティング 新訂版 問題集 (実教出版)				

学習の目標	<p>1 激しく変化する現代市場においてマーケティングの果たす役割と意義を理解し、マーケティングに関する体系的な知識と技術を習得する。</p> <p>2 マーケティングに関連する職業への認識を深め、進路選択の幅を広げる中で、マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を身に付ける。</p>
学習の方法	<p>・全商商業経済検定1級合格を目指し、講義をもとに、問題を解きながら理解力を深めていきます。冬休みの課題等で、模擬問題を解いて実践力を身に付けていきます。</p> <p>・現代市場に目を向け、マーケティングに関心を持ち、他の商業科目との関連性を意識しながら学習を進めてください。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 現代市場とマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> 現代市場の特徴や、マーケティングの概要と、生産・流通・消費の動向やマーケティングの発展、内容と手順について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	—	B
	第2章 市場調査	<ul style="list-style-type: none"> 市場調査の意味・手順、実態調査の方法、市場調査の実習などについて学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	B	B
1 学期 末	第3章 消費者行動	<ul style="list-style-type: none"> 消費者行動と購買、購買意思決定過程、製品のライフサイクルと普及について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	第4章 販売計画	<ul style="list-style-type: none"> 販売計画と販売予測、立案・実施・統制について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	B	A	B
	第5章 製品計画	<ul style="list-style-type: none"> 製品計画の概要、製品ミックスと製品政策について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 末	第6章 仕入計画と商品管理	<ul style="list-style-type: none"> 仕入計画の意味・手順・内容、商品管理の意味、在庫管理、商品の物的管理などについて学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	B	B
	第7章 販売価格	<ul style="list-style-type: none"> 販売価格の意味・種類と構成・決定要因、価格戦略の意味や卸売価格政策、小売価格政策、新製品を発売する差異の価格政策などについて学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	A	B	B	B
3 学期	第8章 販売経路	<ul style="list-style-type: none"> 販売経路の設定、販売経路の強化(系列化・短縮化・効率化・多様化)や流通業者の立場と対応について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	A	B	B
	第9章 販売促進	<ul style="list-style-type: none"> 販売促進の重要性、広告、販売員活動、ブランド、信用販売、その他の販売促進について学習します。 課題プリント、ノート、小テスト、課題研究、定期考査 	B	B	A	B
	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 検定試験に合格するため、多くの問題に取り組んでいきます。 課題プリント、模擬問題 	B	B	B	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	財務会計 I	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	3	教科書	財務会計 I (東京法令出版)		
副教材等	完全段階式標準検定簿記問題集全商1級会計(東京法令出版)				

学習の目標	<p>1 「簿記」の学習を基礎として、企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成に関する基本的な知識を身に付け、財務諸表の必要性や役割について理解します。</p> <p>2 財務諸表から得られる情報をビジネスの諸活動に活用する能力を身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2・3学期に週6時間の授業を集中的に行い(後期まとめ取り方式)学習します。 ・ 財務諸表に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けますが、その学習内容は『簿記』よりもさらに高度になるため、教科書や問題集を活用し、常に予習と復習を行うことを心掛けてください。 ・ 問題演習については、間違えたところを何回も復習し、疑問点や不明な点は積極的に質問して確実に解けるようにしてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間						
1 学期 末						
2 学期 末	第Ⅰ編 財務会計の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業会計の意味や目的、財務会計の機能や企業会計制度の意味などを学習し、企業会計制度に関する理解を深めます。また、企業会計の歴史を通して、会計基準の必要性と今日的な動向を学びます。 ・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A
	第Ⅱ編 貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資産・負債・純資産の意味と種類を明らかにしていきます。具体的には当座資産・棚卸資産・固定資産について、それぞれの意味と種類を明らかにし、負債と純資産が企業にとっての調達資金であることを学びます。 ・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第Ⅲ編 損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損益計算の意味を明らかにし、損益計算の基準や処理方法を修得します。また、販売形態や営業種目などの相違による収益認識基準を明らかにし、それぞれの基準による処理方法を考えます。 ・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	第Ⅳ編 財務諸表活用の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告式の貸借対照表と損益計算書の作成方法について学習します。 ・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
	第Ⅴ編 連結財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結財務諸表の意味と必要性を理解し、親会社と子会社の意味と連結の範囲を学習します。 ・ 課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B

(備考) 1 2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	商業	科目	原価計算	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	原価計算 (東京法令出版)		
副教材等	完全段階式標準検定簿記問題集 原価計算 (東京法令出版)				

学習の目標	1 製造業における原価計算と工業簿記に関する知識と技術を習得し、理解を深めます。 2 原価の概念に対する理解を深め、原価から得られる情報を活用する能力と態度を育てます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が「簿記」よりもさらに高度になるため、教科書を活用し予習と復習を丁寧に行ってください。 ・問題演習については、間違えたところを何回も復習して確実に解けるようにしてください。 ・授業の際には、教科書・問題集・ノート・電卓の準備を忘れないようにしてください。 ・不明な点は積極的に質問して、「原価計算」に対する理解を深めるように努めてください。 ・1学期は「財務会計Ⅰ」の時間も使い、「原価計算」をまとめて学習します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	第Ⅰ編 原価と原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・原価の概念、原価計算の目的、製造業における簿記の特色と仕組みを学習し、原価計算の概要について理解を深めます。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	A	—	—
	第Ⅱ編 原価の費目別計算	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費、労務費及び経費の計算と記帳を学習し、原価の費目別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
	第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> ・個別原価計算、部門別個別原価計算、総合原価計算を学習し、原価の部門別計算と製品別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
1 学 期 末	第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳方法及び製造業の決算を学習し、製品の完成・販売に関する会計処理と決算を行うための基礎的な技術を習得します。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
	第Ⅴ編 標準原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ・標準原価計算の目的と手続、原価差異の原因分析及び損益計算書の作成を学習し、標準原価計算を行うための基礎的な知識と技術を習得します。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第Ⅵ編 原価情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・直接原価計算の目的と損益計算書の作成及び短期利益計画を学習することにより、原価情報を有効に活用する力を身に付けます。 ・ノート、問題集、課題プリント、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
2 学 期						
3 学 期						

- (備考) 1 1学期は4月から9月まで原価計算2単位と財務会計Ⅰ3単位あわせて週5単位で学習します。2学期以降は「財務会計Ⅰ」を学習します。
- 2 定期考査は、中間・期末に行います。
- 3 中間考査の評価は、考査の素点とします。

平成30年度 シラバス

教科	商 業	科 目	プログラミング	学年 学科 類型	2年 商業科 II型
単位数	2	教科書	最新プログラミング (実教出版)		
副教材等	全商情報処理検定 模擬試験問題集 プログラミング 1級 (実教出版)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータを使ったデータ処理のしくみについて理解します。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得します。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を養います。 4 社会の様々な活動で情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を育てます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングの実習を通じて、コンピュータのしくみやセキュリティの要点などの基本的な知識を学びながら、プログラムを開発して大量のデータを処理する技能を養成します。 ・デバッグ活動を通じて、根気強さや注意深さを促し、ビジネスにおいて必要な論理的な思考法を養成します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会の情報処理について学びながら、プログラミングの可能性を考えます。さらにJava言語の特徴を理解するとともに、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を把握します。 ・実習作品、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
1 学期 末	2 プログラミングの基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングの開発手法を身に付け、各種ファイルの役割を理解します。さらにJavaプログラムの基礎的・基本的な技法を身に付けるとともに、デバッグのこつやエラーを起こしにくい開発習慣を身に付けます。 ・実習効率、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	3 プログラミング応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Javaプログラミングにおけるオブジェクト指向、メソッドの構成、配列処理、例外処理、ファイル操作などの概念とコーディングを学び、実用的なプログラムを開発できる能力を養成します。 ・実習態度、デバッグ効率、検定対策テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 末	4 Javaの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・より応用的なJavaの機能ライブラリーを取り込むことにより、ウィンドウ操作、文字列加工、画像操作、動画などのマルチメディア操作を実習し、Javaプロや音声プログラミングのさらなる可能性を考えます。 ・実習作品、開発効率、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	5 ハードウェア・ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの利用にあたって必要な、ハードウェアとソフトウェアに関する知識を身に付けます。さらに情報社会に参画する上での望ましい態度について考察を深めます。 ・検定対策テスト、定期考査、実習作品、ノート 	B	B	B	A

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。